

田辺市議会だより

平成27年
(2015年)

2月号

発行 / 田辺市議会 編集 / 広報委員会



12月定例会

平成26年度一般会計補正予算などを可決

平成26年12月定例会は、12月2日に開会し、22日までの21日間の会期で開催され、「平成26年度一般会計補正予算」をはじめ、「田辺市立小学校及び中学校条例の一部改正について」など、市長提出議案24件を全て原案のとおり可決または異議なしとしました。

また、市長専決処分事項については1件を承認、1件の報告を受けたほか、国の関係行政庁に提出する意見書1件を原案のとおり可決しました。

なお、9月議会で常任委員会に付託され、閉会中の継続審査となっていた平成25年度一般会計及び各種特別会計の歳入歳出決算議案等17件については、全て原案のとおり認定または可決されました。

本定例会では、12月11日・12日の2日間にわたり、7人の議員が一般質問を行いました。

目次

- ・議決結果の一覧、採決状況結果一覧…………… P 2
- ・意見書、請願について…………… P 3
- ・一般質問、議会用語解説 …… P 4～5
- ・常任委員会視察研修報告 …… P 6～7
- ・3月定例会予定、議会活動日誌ほか…………… P 8

田辺市議会ホームページ

<http://www.city.tanabe.lg.jp/gikai/index.html>

※携帯電話・スマートフォンなどの
バーコードリーダーで読み取ると、
議会ホームページにアクセスできます。



QRコード



議決結果 (主なもの)

平成 26 年 12 月定例会

件 名	議決結果
◆平成 25 年度各種会計決算 (9 月議会において閉会中の継続審査としたもの) 3 定議案第 22 号 平成 25 年度田辺市一般会計歳入歳出決算について 3 定議案第 23 号 平成 25 年度田辺市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算について 3 定議案第 24 号 平成 25 年度田辺市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について 3 定議案第 25 号 平成 25 年度田辺市介護保険特別会計歳入歳出決算について ※上記以外の平成 25 年度各種会計決算等 13 件については全会一致により認定または原案可決	認定 (賛成多数)
3 定請願第 1 号 中学校卒業まで「子ども医療費無料化」を求める請願 ※1 平成 26 年 9 月議会において閉会中の継続審査としたもの ※2 委員会における審査経過は次ページに掲載	不採択 (賛成少数)
4 定請願第 1 号 中辺路学校給食調理場の存続・改修を求める請願 ※委員会における審査経過は次ページに掲載	
4 定議案第 1 号 田辺市職員の給与に関する条例等の一部改正について	原案可決 (全会一致)
4 定議案第 2 号 田辺市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	
4 定議案第 5 号 田辺市立小学校及び中学校条例の一部改正について (鮎川小学校と三川小学校及び衣笠中学校と長野中学校を統合するため、所要の改正を行うもの)	
4 定議案第 10 号 平成 26 年度田辺市一般会計補正予算 (第 7 号)	
4 定発議第 1 号 農業・農協改革に関する意見書の提出について	

※議案番号等の前についている「3 定」は 9 月議会を、「4 定」は 12 月議会をあらわしています。

賛否が分かれた議案等 ○：賛成 ×：反対	議案の可否	紀新会					誠和会				公明党		日本共産党			清新会		くまのクラブ					
		安達 克典	北田 健治	橘 智史	湯口 好章	尾花 功	塚 寿雄	宮本 正信	山口 進	二葉 昌彦	松下 泰子	中本 賢治	小川 浩樹	佐井 昭子	出水 豊数	久保 浩二	川崎 五一	真砂みよ子	市橋 宗行	吉田 克己	陸平 輝昭	高垣 幸司	安達 幸治
3 定議案第 22 号 平成 25 年度田辺市一般会計歳入歳出決算について及び 23 号、24 号、25 号 ※上記議決結果参照	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
3 定請願第 1 号 中学校卒業まで「子ども医療費無料化」を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×
4 定請願第 1 号 中辺路学校給食調理場の存続・改修を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×

※議長 (塚 寿雄) は議決に加わらないため斜線としています。

12月議会でも可決された意見書

12月定例会では、次の意見書を可決し、市議会の意思として、国会や関係機関に提出しました。

農業・農協改革に関する意見書（要旨）

これまで、農協は農家や行政と一体となり「持続可能な農業」や「豊かで暮らしやすい地域社会」の構築のため、地域社会・地域経済の活性化に幅広く取り組み、地域の社会資本整備にも貢献している。

しかしながら、現在直面している急激な人口減少・少子高齢化に加え、消費者ニーズ、農産物の流通形態の変化等も相まって、時代に応じた柔軟で機動的かつ効率的な組織改革は喫緊の課題である。

今般、「規制改革実施計画」で示された農協改革案の取りまとめに際しては、農協本来の使命である農家所得

の向上、食料の安定供給、地域社会の維持等の目的を達成するため、地域農協や組合員自らの意思による不
断の改革が実現するよう、次の事項に留意されたい。

1. 農業、農協改革に当たっては、農家所得拡大、農村活性化等、真の農業振興につながるよう、生産農家及び関係機関の意見を尊重し慎重に対応すること

2. 農協改革に当たっては、単位農協の機能強化・独自性の発揮等を後押しし、農協と組合員自らで自己改革が進むよう、慎重かつ入念な議論を行うこと

請願の審査経過について

12月議会において、次の2件の請願について本会議で採決が行われました。（いずれも不採択）
2件の請願の要旨と本請願が付託された文教厚生委員会における審査の要旨は次のとおりです。

中学校卒業まで「子ども医療費無料化」を求める請願

◆請願理由（要旨）

子育てを応援し、若者が定住する住みよいまちづくりは本市の発展にとって大切な課題である。

現在、高校・中学校卒業まで子ども医療費を無料にする自治体は県内で19市町村（入院医療費のみを含む）に広がっており、本市においても中学校卒業まで子ども医療費を無料化されたい。

◆委員会審査（要旨）

・子育てを取り巻く環境において、子ども医療費が保護者の重い負担となることは理解するが、現在のように各自治体間で子育て支援施策を競う状況は、急激な人口減少及び少子高齢社会の抜本的な問題解決の本質から逸脱している。

・安心して子どもを産み育てるためには、全国どこでも必要な

子育て環境が保障されることが重要で、地域による格差が生じてはならない。

・中学校卒業まで無償化した場合、本市の財政負担が恒久的に増すことにつながる懸念がある。
・子ども医療費の無償化は、国が全国一律の制度化を行い、実施すべきものである。

中辺路学校給食調理場の存続・改修を求める請願

◆請願理由（要旨）

中辺路学校給食調理場を廃止し、大塔給食センターへの統合が教育委員会から提案された。

子どもたちにとって「顔の見える」給食の提供が「食育」の観点からも重要であり、小規模であるからこそ「地産地消」が可能である。また、働き場所の消失にも不安を感じている。

こうした理由から本給食調理

場の存続と早期改修を求める。

◆委員会審査（要旨）

・2施設ともに改修するには多額の費用を要するなどの課題があり、児童生徒への安全・安心な食の提供を最優先に勘案した結果、教育委員会は大塔給食センターを増改築した上で統合する方針を決定した。

・教育委員会は、本計画を進めるに際し、地域の小中学校長をはじめ、学校給食調理員に説明した後、中辺路・大塔地区の小中学校保護者に説明会等を開催しているが、今後も保護者の疑問点等については、解消に努めていくとのことである。

・食材調達については、統合後も現在と同様の対応が可能である。

・調理員配置人数については、調理食数が減少していることから、現在の調理場を存続させたとしても削減の検討が必要になる。

市役所内における男女共同参画について 真砂みよ子議員

議 女性には女性ならではの視点がある。その特性を生かして、防災まちづくり課、廃棄物処理課、管理課（公園担当）、観光振興課、たなべ営業室などに女性職員を増員してはどうか。

市 女性の視点や感性が重要であることは認識している。適材適所の配置を行っていききたい。

議 女性職員が少ないため、管理職も少ない。採用の改善はできないか。

市 職員採用は成績によるものである。

議 男女共同参画社会という社会は、女性だけでなく男性にとっても生きやすい社会である。市も力を入れてほしい。

ゴールデンイヤー（国体や世界遺産10周年）後の人事政策について 川崎五一議員

議 国体関連施設整備や国体終了後の人事異動の方向性についての考えは。

市 社会経済情勢の変化や住民ニーズに対応する部署への配置を考えている。

議 時間外勤務が多い部署やまちづくりを担う部署への配属が必要である。現在、嘱託職員（非常勤）となっている教育事務所長は常勤職員にすべきである。

また、「世界遺産のあるまち」にふさわしく、世界遺産課を新設してはどうか。

市 文化振興課文化財係は世界遺産、埋蔵文化財、歴史民俗資料館に関する業務を担当しており、今後も業務が増加する見込みである。十分見極めながら対応する。

漁業振興対策について 湯口好章議員

議 本市の主な漁業である、まき網漁業、一本釣漁業、ひき縄漁業（ケンケン漁）による漁獲量が激減している。また、漁業者も10年前は田辺漁協と湊浦漁協を合わせ正組合員は350名いたが、現在では151名、平均年齢64.7歳と高齢化のため年々減少している。今何らかの対策を講じなければ、漁業者は減る一方である。市は、この現状をどのように捉えているのか。

市 全国的に漁業を取り巻く環境は大変厳しいと認識している。今後さらに、漁協及び漁業者と連携を図り、漁業者にとって魅力ある事業の立案に取り組む。

鳥獣害対策について 高垣幸司議員

議 現在、鳥獣被害は増加しており、捕獲頭数も市町村合併前の倍以上となっている。5年前、本宮町に食肉加工処理施設ジビエ本宮が設置され、捕獲した有害鳥獣も処理されているものの、全市的に処理される状況には至っていない。市として大量に処理できる施設をつくる時期に来ているのではないか。

市 ジビエ本宮での処理件数は年間60頭程度で、その対象エリアも本宮町管内にとどまっている。捕獲頭数が増加する中、今後、市全域における捕獲鳥獣の処理について具体的な方策の検討を進めていきたい。

※**議**は議員からの質問・意見、**市**は市当局の答弁を表しています。

一般質問

※編集の方針上、「〜だ」「〜である」といった文体に統一していません。

世界遺産追加登録の候補地について 北田健治議員

【議】 闘雞（とうけい）神社は、熊野三山の別宮的な存在でもあることから、「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産への追加登録は可能であると考えます。本市における候補地の詳細は。

【市】 世界遺産追加登録に当たっては、国指定文化財の指定が必要となるため、市では現在、北郡越、長尾坂、潮見峠越、赤木越の4つの道に加え、全体が高い文化的価値を有する闘雞神社境内を対象に、国への意見の取りまとめを進めています。

【議】 中心市街地に位置する闘雞神社が世界遺産登録されると、市街地の活性化につながるため、一層の推進に努められたい。

子ども議会の開催について 尾花 功議員

【議】 未来の田辺市を支えていくのは子どもたちである。来年の市町村合併10周年を迎えるに当たって、子どもたちの生の声を聞く子ども議会を記念行事として開催してはどうか。

【市】 子どもたちが将来の自分がどのように田辺市で生きていくのか等について、議会形式で意見を発表することは、自分のまちを知り、また政治の仕組みを知るための一つの方法である。子ども議会の開催に向けて、議会や関係部局の意見等をいただきながら検討したい。

【議】 子ども議会の実現に向けて、関係部局との調整に努められたい。

議会用語 解説

● **定例会と臨時会**
田辺市議会には、定例会と臨時会があります。定例会とは、市当局から議会に提出される議案の有無にかかわらず、定期的に招集される議会のことをいいます。本市では定例会を

年4回と定めて、3月、6月、9月、12月に開会しています。臨時会とは、定例会以外に必要な場合、特定の議案に限って審議するために臨時招集される議会のことをいいます。



介護保険制度見直しによる利用者サービスの低下について 久保浩二議員

【議】 介護保険制度の見直しで要支援1・2の方の訪問介護やデイサービスが介護保険から除外され、また特別養護老人ホーム（特養）の入所要件が要介護3以上に限定される。低所得者の特養利用料が引き上げられるなど、サービスの低下や利用抑制につながらないか。

【市】 要支援1・2の方には、市が行う新しい総合事業に移行し、ボランティア・NPO等を含むサービス提供となる。要介護1・2の方でも、在宅での生活が困難な方は施設入所を認める特例要件がある。

【議】 サービスの低下にならないよう取り組むべきである。

常任委員会視察研修報告

常任委員会では、市政の発展・住民福祉の増進のため、他の自治体などの先進的な取り組み等について、行政視察を実施しています。

総務企画委員会

◆日程

平成26年10月21日～23日

◆視察先

静岡県沼津市、

埼玉県戸田市、さいたま市

◆派遣委員

◎市橋宗行 ○北田健治

川崎五一 小川浩樹

中本賢治 陸平輝昭

(◎委員長 ○副委員長)

①静岡県沼津市（津波防災対策について）

沼津市では、「地震・津波対策アクションプラン」に基づき、地震・津波対策を推進しており、避難ビルの指定、避難路の指定、

整備、緊急避難施設の整備、防災倉庫の設置、ハザードマップ、避難看板設置などを進めています。また、沼津港には、住民とその財産を津波から守るため、日本最大級の水門である「びゅうお」が設置されています。

②埼玉県戸田市（シティセールスの取り組みについて）

戸田市では、調査研究と政策支援の二つの機能を持つ政策研究所を平成20年に設置し、テーマを設定して研究事業を行っています。平成24年度には、まちの魅力や課題を改めて見つめ直し、まち全体としての魅力を向上させるため、その最大の効果を生む方策を研究するシティセールス研究に取り組みました。



戸田市役所にて

③さいたま市（自治会等の振興を通じた地域社会の活性化の推進に関する条例の策定経過と取り組みについて）

さいたま市では、議員発議により右記の条例を平成24年に制定し、町内会への加入促進の取り組みを進めています。町内会加入率の低下は、本市においても課題となっており、さいたま市の本条例制定経過や制定後の加入促進の取り組み、現在の課題について研修しました。

産業建設委員会

◆日程

平成26年10月27日～29日

◆視察先

栃木県那須塩原市、

福島県本宮市、福島市

◆派遣委員

◎安達克典 ○二葉昌彦

湯口好章 佐井昭子

山口 進 吉田克己

(◎委員長 ○副委員長)

①栃木県那須塩原市（黒磯駅前の再生事業について）

那須塩原市では、人口減少や高齢化が急速に進む黒磯駅前の再生事業を進めており、町なかへの移住促進による集約型都市の形成、徒歩や自転車でも暮らせるコンパクトなまちなど、新たなまちの魅力創出を目指しています。

このほか、黒磯駅前活性化委員会では、観光客の案内や休憩場所の確保、イベント実施による誘客事業も展開しています。

②福島県本宮市（木造仮設住宅
についての取り組みについて）

本宮市では、東日本大震災後、約140戸のログハウス仮設住宅を建設しました。この事業は県の公募事業として、地域の業者や大学等が一体となって取り組みました。仮設住宅は工場生産部材を多用し、建設が容易であるため、未経験者でも組み立てに参加でき、雇用促進にもつながりました。また、低予算で済むことや、部材の再利用が可能といった利点もあります。



ログハウス仮設住宅（本宮市）

③福島市（バイナリー発電と水力発電の取り組みについて）

福島市土湯温泉町は東日本大震災で壊滅的被害を受けた地域です。震災後、復興とさらなる観光振興に向け復興再生協議会を結成し、市と協働して都市再生整備や温泉を活用したバイナリー発電、砂防堰堤を活用した小水力発電に取り組みました。現在、試験的に温泉熱を利用した果実栽培も実施しています。

文教厚生委員会

◆日程

平成26年10月29日～31日

◆視察先

群馬県高崎市、福島県南相馬市NPO法人さぼりとセンターぴあ、南相馬市

◆派遣委員

◎松下泰子 ○橘 智史
久保浩二 尾花 功
安達幸治 出水豊数
高垣幸司

（◎委員長 ○副委員長）

①群馬県高崎市（高崎市新斎場整備事業について）

高崎市では、平成28年度共用開始に向け新斎場の整備を進めています。新斎場は、火葬炉12炉、式場棟、待合室等を兼ね備え、プライバシーや環境に配慮した施設を計画しています。本市においても施設の老朽化が進んでおり、今後の取り組みの参考とするため、高崎市の施設整備について研修しました。



整備中の高崎市新斎場

援体制やその後の状況等について）

デイサポーターぴあは、生活介護、自立訓練、介護や生活訓練を必要とする人が学校卒業後に就労や社会参加の場として利用している施設です。本市においても、今後大規模地震の発生が予想されるため、東日本大震災発生時及びその後の要援護者支援等、実際の現場で行うべきことや、要援護者に必要な対応策について研修しました。

③福島県南相馬市（震災後における要援護者の心のケアに係る取り組みについて）

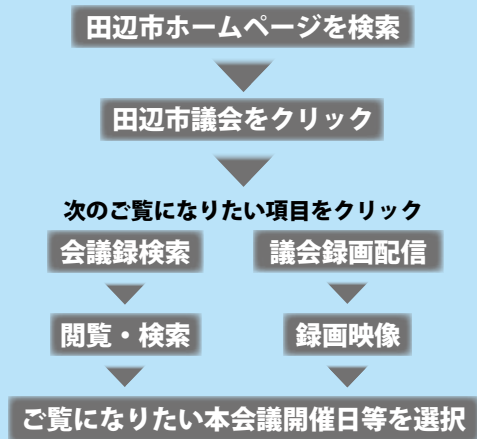
南相馬市は、東日本大震災において甚大な被害を受け、多くの犠牲者が出た上、原発事故の影響も大きく受けた自治体です。震災後、市では被災者の心のケア事業を進め、心の健康づくりのための相談体制の充実や自殺予防推進の取り組みとあわせ、遺族同士で気持ちを分かち合い、語り合う「わかちあいの会」などを実施しています。

②NPO法人さぼりとセンターぴあ「デイサポーターぴあ」
（災害時における要援護者の支

議 会 活 動 日 誌

10月	【9日・10日】産業建設委員会 【14日・15日】文教厚生委員会 【16日・17日】総務企画委員会 【20日】国体関連施設整備特別委員会
11月	【26日】議会運営委員会
12月	【2日】本会議（1日目）、総務企画委員会、産業建設委員会、文教厚生委員会 【11日】本会議（2日目）、議会運営委員会 【12日】本会議（3日目）、国体関連施設整備特別委員会 【15日】産業建設委員会、文教厚生委員会 【16日】総務企画委員会、文教厚生委員会 【22日】本会議（4日目）、議会運営委員会、総務企画委員会、産業建設委員会、文教厚生委員会、広報委員会 【26日】広報委員会
1月	【19日】広報委員会

市議会本会議の会議録や録画映像はインターネットからご覧いただけます



- 田辺市ホームページ
<http://www.city.tanabe.lg.jp/>
- 田辺市議会ホームページ
<http://www.city.tanabe.lg.jp/gikai/index.html>
※表紙のQRコードからもアクセスできます。
- 会議録検索ページ
<http://www.kensakusystem.jp/tanabe/index.html>
- 議会録画配信ページ
<http://www.kensakusystem.jp/tanabe-vod/index.html>

議会日程の詳細や市議会だよりの内容等について、ご意見・ご質問等がありましたら、下記までご連絡ください。

ホームページでは、議会の情報や本会議会議録、録画映像をご覧いただけるほか、声の議会だよりもご利用いただけます。

【連絡先】

田辺市議会事務局
〒646-8545
田辺市新屋敷町1番地
TEL 0739-26-9940（直通）
FAX 0739-25-5579
E-mail:gikai@city.tanabe.lg.jp
<http://www.city.tanabe.lg.jp/gikai/>

次回の「市議会だより」

5月号

（3月定例会の報告）



平成 27 年 3 月定例会の会期日程（予定）

3月定例会の会期日程（案）をお知らせします。
なお、日程は諸事情により変更される場合があります。恐れ入りますが、傍聴をご希望の場合は、議会事務局まで日時をお問い合わせください。

月	日	会議の内容
2	27	本会議 1 日目（現年度補正予算等関係議案の提案説明、新年度予算等関係議案の提案説明）
3	2	本会議 2 日目（新年度予算等関係議案の提案説明、現年度議案に対する質疑及び委員会付託）
	4・5	常任委員会（現年度補正予算等関係議案審査）
	11	本会議 3 日目（付託議案に係る委員長報告、現年度補正予算等関係議案審議、一般質問）
	12	本会議 4 日目（一般質問）
	13	本会議 5 日目（一般質問）
	16	本会議 6 日目（一般質問、新年度予算等関係議案に対する質疑及び委員会付託）
	17～20、23・24	常任委員会（新年度予算等関係議案審査）
	25	本会議 7 日目（新年度予算等関係議案に係る委員長報告、議案審議）

※本会議の開会予定時刻は、3月11日及び25日が午後1時、それ以外は午前10時です。